

あきた新エネルギーカレッジについて

1 開催概要

(1) 目 的：本市に導入された再生可能エネルギー関連施設の見学や関係企業の社員との意見交換等により、再エネ関連産業に対する意識の醸成を図り、将来の進路選択につなげる

(2) 日 時：令和6年8月26日（月）から8月29日（木）

(3) 参加者：市内の大学生19名

（内訳）

・秋田大学	国際資源学部	11名
・秋田大学	理工学部	3名
・秋田大学大学院	理工学系研究科	2名
・秋田大学大学院	国際資源学研究科	1名
・秋田大学大学院	教育文化学部	1名
・放送大学	教養学部	1名

(4) その他：本事業は、風力発電事業者からの寄附金および秋田県による補助事業を活用した事業である。

・寄附金：秋田洋上風力発電株式会社 様

・補助金：県営発電所周辺地域等振興事業助成金

2 行程および内容

(1) 8月26日（月）

①オリエンテーション（市役所6-A会議室） 13:00～13:20

- ・新出担当部長あいさつ
- ・職員紹介
- ・行程・注意点確認
- ・秋田市のエネルギー施策について（説明）



②「再エネの普及拡大に向けた取組」 14:00～14:45

(風力発電トレーニングセンター「秋田塾」)

(講師)

東北電力株式会社秋田支店 地域共創本部広報担当部長

岩井 由典 様

(内容)

- ・ 座学形式の講義を実施した。
- ・ 同社がこれまで取り組んできた電力事業のほか、再生可能エネルギー導入拡大に向けた取組の紹介を行った。
- ・ 全体の行程を通し、初回の講義となったことから、「電力事業とはなにか」「再エネがなぜ必要なのか」など、今後の講義の基礎となる内容も説明した。



③「地元で行う「人材育成」」 14:45 ～ 15:45

(講師)

東北電力リニューアブルエナジー・サービス株式会社

常務取締役 技術部長 大原 智成 様

(内容)

- ・ 東北電力リニューアブルエナジーが取り組む人材育成とその意義について、座学を実施した。(15分程度)
- ・ その後、希望者5名がフルハーネスの着用と高所作業での安全な体位の作り方を施設内のはしご設備を使用して体験した。



(2) 27日(火)

①「国内初の洋上風力発電事業」13:00~14:15

(飯島サンセットパーク)

(AOW風みらい館)

(講師)

秋田洋上風力発電株式会社 代表取締役社長 井上 聡一 様

(内容)

- ・飯島サンセットパークにて同社の洋上風車を見ながら、事業の説明を行った。
- ・AOW風みらい館にて、風車建設の映像などを見ながら説明を行った。



②「洋上風力発電事業における「O&M」」14:30 ~ 15:30

(北部市民サービスセンター)

(講師)

丸紅洋上風力開発株式会社 能代運転管理事務所

所長補佐 高梨 弘輝 様

(内容)

- ・洋上風車メンテナンスの状況について講義を実施した。
- ・また、秋田県南部沖の浮体式洋上風力発電の実証事業について説明があり、多くの質疑が行われた。
- ・このほか、実際に現場で使用されているフルハーネスの着用体験を実施し、希望者5名が着用体験をした。



(3) 28日(水)

①「地元でつくるクリーン電気「バイオマス発電所」」13:00~14:10
(ユナイテッドリニューアブルエナジー)

(講師)

ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社 渡辺 修 様

(内容)

- ・同社のバイオマス発電の事業概要について座学で説明を受けた。
- ・実際に構内を歩きながら燃料の木質チップや発電機を見学した。



②「地元でつくるクリーン電気「風力発電所」」14:40~15:45
(秋田潟上ウインドファーム)

(講師)

ウェンティジャパン株式会社 梶原 将 様

(内容)

- ・秋田市飯島に設置された陸上風車の脇で事業概要の説明を受けた。
- ・現地に設置されているブレードやタワーに触れる機会を設けるなど実際の発電設備を間近に見学することができた。



(4) 29日(木)

①「洋上風力発電を起点とした日本郵船の取組から」

(センタース 洋室4)

(講師)

日本郵船秋田支店長 下村 達也 様

(内容)

- ・日本郵船の会社概要を紹介するとともに、「なぜ洋上風力発電事業に取り組むのか」、「日本郵船は秋田で何をを目指すのか」について講演した。
- ・日本郵船が開設した「風と海の学校あきた」に関する説明を受けた。



②「三菱商事グループの取組」 (センタース 洋室4)

(講師)

三菱商事秋田支店長 三上 義弘 様

(内容)

- ・三菱商事の会社概要を紹介するとともに、商社として洋上風力発電事業にどのように貢献していくのかについて講演した。
- ・秋田県での洋上風力発電事業や地域の活性化につながる共生策に関する説明を受けた。



③修了式 (センタース 洋室4)

- ・市長あいさつ
- ・修了証書授与
- ・記念撮影



3 アンケート結果

【設問 1】 参加のきっかけ ※複数回答可

選択肢	回答数
再エネに興味があった	14
将来の進路の選択にしたかった	10
卒論・研究のテーマに関連があった	6
その他（先生に提案されたから）	1

【設問 2】 カレッジを知ったきっかけ

選択肢	回答数
先生の紹介	10
広報あきた	2
学校の掲示板	2
知人の紹介	2
学校のポータルサイト	2
ホームページ	1
キャリピタあきた	－
あきエコどんどんプロジェクト	－
その他	－

【設問 3】 講義全体のボリューム

選択肢	回答数
多かった	－
やや多かった	1
ちょうどいい	17
やや少なかった	1
少なかった	－

【設問 4】 講義全体の満足度

選択肢	回答数
満足	13
やや満足	4
普通	2
やや不満	－
不満	－

【設問 5】 次回学習したい分野や現在、関心がある分野を教えてください
※複数回答可

〈再エネ発電所〉

選択肢	回答数
洋上風力発電	14
水力発電	9
バイオマス発電	8
メガソーラー（太陽光）発電	4
廃棄物発電	3
その他	2
陸上風力発電	(1)
地熱発電	(1)

〈再生可能エネルギーに関連する技術〉

選択肢	回答数
水素・アンモニア・合成燃料	11
メンテナンス事業	10
ドローン操作	4
その他	－

〈その他関連技術〉

選択肢	回答数
CCS・CCUS	10
太陽光パネルリサイクル技	4
風車部材リサイクル技術	4
その他	1
環境アセスメント	(1)

【設問 6】参加しやすい日数および時間帯を教えてください

①日数

選択肢	回答数
1 日	－
2 日	－
3 日	16
4 日	3
5 日以上	－

②時間帯

選択肢	回答数
終日（午前と午後）	5
午前のみ	1
午後のみ	13

【設問 7】その他、ご意見ご要望ご感想などお聞かせください

- ・ 発電所内の見学、各社の事業説明などかなり貴重な経験になりました。将来再エネの分野に関わることがあれば、今回の経験を活かしたいと思います。ありがとうございました。
(秋田大学大学院 22 歳)
- ・ 貴重なお時間、そして機会をいただきありがとうございました。「秋田」への愛着と魅力を感じることができました。家族や友達に「こんな素晴らしい経験ができたんだよ」とぜひ紹介したいです。
(秋田大学 22 歳)
- ・ 座学だけでなく、普段体験できない宙づりや訓練、風車の見学ができ、とても貴重な経験になりました。文系のコースに所属しており、風車の構造や送変電設備など詳しく知らなかったですが、今回の講座を通じて理解を深めることができました。また機会があればこのような企画に参加したいです。
(秋田大学 22 歳)
- ・ 実際に秋田で行われている新エネルギー関係の現場に触れることができとても良い経験になりました。4 日間、ありがとうございました。
(秋田大学 19 歳)